

6月12日(月)

貧しき人につけこんではならない

聖書朗読 ヨハネ 1:43~51

自分の隣人をさげすむ人は罪人。貧しい者をあわれむ人は幸いだ。

箴言 14:21

最近、南アフリカの貧しい住民が、食べ物の中で争っているニュースを耳にしました。政府が食料品を支給しているにもかかわらずです。何がいけないのでしょうか？ 実は、裕福な人間が大量の食料品を政府からの支給価格で買い上げて、高値で貧しい人々に転売していたのです。これは正しいことでしょうか？

ネヘミヤ記の第5章では、ユダヤの生活共同体において、貧しい人々につけこむ裕福な人々のことが記されています。ユダヤの民は、捕囚の縄目から解放されて、エルサレムへの帰還を果たし、神殿の再建に取り掛かっていましたが、飢饉にあい、多数の民が大きな経済的負担に苦しんでいました。しかし、最大の負担は、裕福な者が民に課した高金利の借金にあったのです。借りた者は、自らの土地やワイン畑を売らざるをえませんでした。大きな借金のために、子どもたちを奴隷として売らねばなりません。貧しい人につけこんではならないとモーセの律法は強く戒めています(申命記23:19~20)。

ネヘミヤは権威によって、このような搾取を戒め終わらせ、債権者が不当に得たものを人々に返させたのです。今のこの世にあって、私たちの行いの全てが、正しいものでありますように祈りましょう。

讃美歌 121

祈り 正しき神様。私たちが隣人に対して不当な行いをなしている、いかなることにも気づかせてください。私たちが悔い改め、弱きものへの抑圧をやめることができるように、何かしらの行いをする事ができますようにお導きください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ロバート・P・リー
コロラド州 オーロラ

今日のカ

2017年6月12日~6月18日

翻訳 小出友紀

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月13日 (火)

霊的な生まれ変わりのみなもと

聖書朗読 ネヘミヤ 8 : 1~9

信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。 ローマ 10 : 17

私は甘いものが大好きで、正直に言うと、甘いものなら、何でも大好きです。よく、五大食物（果物、野菜、穀物、乳製品、タンパク）といいますが、私にとって、五大食物とは、アイスクリーム、キャンディ、ケーキ、パイ、そしてアイスクリームです。もちろん、大好きな甘いものを食べ過ぎないようにしたり、糖分の多い物は少ない物に変えたりと努力しています。健康のためには、他の食べ物も採るように心掛け、節制することが必要なのです。

甘いものと同様に、私たちは、神様に飢えている心を、訓練を通して満たそうとします。それは、他者から求められたものであったり、教会での交わりや、霊的な思索であったりと、さまざまです。私たちをひきつけてやまない素晴らしい説教や調和のとれた旋律へと誘われる賛美も私たちの糧（食物）となります。どういった訓練であっても誤りということはありません。しかし、私たちの深い飢えは完全には癒されることはないのです。

今日の聖書の箇所のコアは、エズラの復興は民の飢えた心を満たしたということなのです。彼によってなされた復興は、唯一のいのちのみなもとであり、それは、神の教えにほかならないです。エズラは神の律法を毎日数時間朗読し、教師たちは、エズラが朗読したことを民が理解できるように助けました。神のことばであることが高らかに宣言され、説明されたのです。このことを通して、神にあって生まれ変わることができる霊的な糧が民の上に与えられたのです。

讃美歌 191

祈り 主なる神様。私たちは、あなたに飢えたる心を満たすために糧を追い求めすぎますが、満たされることはありません。どうか、あなた様のみことばに聞き、それを理解し、そのことを通して、私たちの人生の歩みを養うことのできる霊的な糧が与えられ、それによって、私たちが満たされますように、あなた様をもっとよく知ることができますようにお導きください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

グレン・ペンバートン
テキサス州 アビリン

6月14日 (水)

私たちに与えられた恵みをもて何を為すべきか？

聖書朗読 エステル 2 : 1~18

王はほかのどの女たちよりもエステルを愛した。このため、彼女はどの娘たちよりも王の好意と恵みを受けた。こうして、王はついに王冠を彼女の頭に置き、ワシュティの代わりに彼女を王妃とした。 エステル 2 : 17

幸運がもたらされた時、私たちはどのようにふるまいますか？あるものは、ただ喜び、与えられた幸せに浸るでしょう。あるものは、それが正当な報酬であると考え、与えられた恵みの全てを自らの功績であると言い張るでしょう。しかし、こうした恵みはいかに私たちの上にもたらされたのでしょうか？

ペテロは簡潔に、『それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。』（Iペテロ 4 : 10）と、私たちを諭しています。究極の目標は、神の栄光を現すことなのです。

エステルは王妃として人々に恵みを与える地位を活かして、鑑となる手本を私たちに示しました。それは簡単なことではありませんでした。彼女は、恐れ、もがいてそれらを行い、人々に仕えたのです。この時代にあって、エステルほどに記憶されている女王はありません。エステルが人々のために仕えたゆえに、歴史にその名を刻んだのです。

今日、私たちの上に与えられている恵みを用いて、私たちが他者に仕える決意をしようではありませんか？

讃美歌 第二編 167

祈り 慈愛に富みたまう父なる神様。あなた様から頂いた恵みを当然のものとして享受していること、そして、それを自分のためにしか使わないことが数多くある私たちをお赦しください。私たちがあなた様の恵みに仕える者となることができますように私たちが教え導いてください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

セイヤー・サリスバリー
オハイオ州 トレド

6月15日 (木)

隠れたる護り手

聖書朗読 エステル 4：1～8

彼女が王のところに行って、自分の民族のために王にあわれみを求めるように彼女に言いつけてくれと頼んだ。
エステル 4：8

紀元前4～5世紀に、信仰篤いモルデカイが、ペルシヤ帝国の域内にいるユダヤ人を滅ぼすために発布された法令の文書を見つけた時、彼は直ちに行動をおこしました。秘密裡にあるこの計画を明るみにしようと、彼は自らの着物を引き裂き、荒布をまとい、灰をかぶり、大声でひどくわめき叫びながら町の真ん中に出て行きました。言いかえると、彼は騒動を起こしたのです。彼は迅速に行動し、その企てが実行される前に、それを未然に防ごうとしたのです。

町の中で彼が起こした行動は、エステルの知るところとなりました(エステルは、実際には、モルデカイの親戚でしたが、実の娘として彼に育てられました)。エステルは女王となっていました。彼女がユダヤ人の一族であることは、王や公には知られていませんでした。エステルは、モルデカイによって、ユダヤ人殲滅の恐るべき企みを知り、最終的に、自らの王に対する影響力を使って民を救ったのです。

今日の聖書の箇所(エステル)の学びは、他者の健康や、名声や信仰を守るためには、断固として素早く行動しなければならないということなのです。私はそう確信します。私たちはお互いを、物理的に、情緒的に、霊的に守る術を学ぶ必要があります。この世にあって、常に、「真実」を得るためには、どんなに費用を支払ってでも、例えそれが他者の破滅をもたらすものであっても、そうすべきだと考える浅薄な人々がいます。しかし、他者を害するような真実は「真の真実」では決してありません。私たちは、他者のために、隠れた護り手でありましょう。

讃美歌 第二編 219

祈り 愛する神様。他者との交わりの中に私たちを留まらせてください。特に、兄弟姉妹との交わりを覚えさせてください。他者に仕えることが出来ますように、あなた様の御力が添えられますようにお祈りいたします。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ビル・ヘネガー

カリフォルニア州 ウェストレイク・ヴィレッジ

6月16日 (金)

私たちの務めを果たしましょう

聖書朗読 箴言 6：6～11

何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心からしなさい。あなたがたは、主から報いとして、御国を相続させていただくことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えています。
コロサイ 3：23～24

働き蟻は忙しい生き物です。生まれたばかりの働き蟻は、最初の数日間は、女王や幼い蟻の面倒をみます。その後の数週間は、地面を掘って巣を広げます。その生の後半は巣を守り、食料を捜し回ります。こうした危険な仕事は、高齢の蟻にのみ割り当てられます。

本日の聖書の箇所である箴言では、支配者がいなくとも蟻のように誠実に務めを果たすことが薦められています。蟻は夏のうちに食物を確保し、刈り入れ時に食糧を集めるというように、いろいろな役割を持っています。私たちにも、それぞれに神の御国を進展させる務めが与えられています。私たちのすべき務めも変化するのです。私たちの歩みが幾瀬の月日を重ねるうちに、私たちの務めは、私たちが置かれた状況に応じて変わっていくのです。

使徒パウロは、本日の聖書箇所(コロサイ3：23～24)において、私たちが務めを果たすために心しておくべきことを示しています。私たちもまた、人に対してではなく、主に対して誠実に務めを果たしましょう。天におられる父なる神様は見えておられます。そして、私たちに報いをくださいます。そのことを覚えましょう。

讃美歌 338

祈り 愛する神様。私たちはあなた様を愛しています。御国の進展のためにそれぞれに与えられた務めを誠実に果たすことを通してあなた様への愛を現しております。私たちがそれぞれに置かれた状況において、私たちの人生の歩みの変化の節々において、御国の進展のために、何をすべきであるのか、共に務めを果たす人々への励ましの道を、どうかあなたによって教えてください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

デビー・ハリソン

テキサス州 リビングストーン

6月17日（土）

くすしき力強き人間

聖書朗読 詩篇 8編

人とは何者なのでしょう。あなたがこれを心に留めておられるとは。人の子とは、何者なのでしょう。 詩篇 8：4

詩篇の作者は、クォーツ粒子も、宇宙の広さも、光の速さも、ブラックホールも知りませんでした。広大な宇宙の広がりに関する統計学も知りませんでした。ですが、彼は、天の御国を仰ぎ見て、天に広がる星を見ることを通して、特別な心の変化を味わったようです。彼には、限られた知識しかありませんでしたが、太陽や月や星々を見つめ続け、この広大な世界において、いかに人間がはかなき生き物であるかということに胸打たれたのです。もし、彼が今の私たちと同じく宇宙を知っていれば、彼のその感嘆はいかに大きくなったことでしょうか。また、私たちはどう感じるでしょうか？ このことに思いを馳せることは、謙遜の良い訓練となります。人間とは、宇宙の塵あくたほどの価値もないのです。

しかし、低き人間はいと高き神様によって造られたという素晴らしさがあります。神様は、植物や動物が生きるこの地上の全てを統べ治める主なのです。造られた生き物は宇宙の尺度では塵あくたのものですが、この地上の尺度においてはとても重要なものなのです。詩篇8編の前半は、人間の謙遜について記され、後半は、その栄光と誉れについて記されています。

しかし、私たちは常に神様の下にいることを覚えましょう。神様の御業は私たちの想像をはるかに超えています。詩篇8編は、私たちが何を成そうとも、常に、神様を心の基に置くことを教えているのです。

讚美歌 第二編 161

祈り 神様。謙遜の賜物を私たちに御与えください。そして私たちに、私たちが造りたもうたあなた様への全き服従の力をお与えください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

トニー・アッシュ

テキサス州 アビリン

6月18日（日）

父よ、祈りに耳を傾けてください

聖書朗読 詩篇 10：1～12

彼は見る。知恵のある者たちが死に、愚か者もまめけ者もひとしく滅び、自分の財産を他人に残すのを。 詩篇 49：10

聖書にあるダビデは、非常に多くの危険と困難に遭遇し、人生の大半において耐え忍ばねばなりません。いくつかの困難は、彼自身の浅ましい決断によるものです。しかし、彼の命に危険を及ぼす危機の大半は、彼の才覚や彼の戦士としての成功を妬んだ他者によるものでした。

ダビデは自身の困難にも関わらず、悪者によってしいたげられ、希望をもてない貧しい人々のことを心に留めていました。しばしば、ダビデは、主なる神様に対して、よこしまで利己的な悪者を罰して下さるようにと、大声で訴えました。ダビデは主が罰を下して下さることを切望していました。

ダビデは、貪欲な者、高慢な者、盗む者、殺す者の悪を主に訴えていました。ダビデは、常に主が、助けを求めるなげきの祈りに耳を傾けていて下さることに感謝を捧げていました。『あなたは貧しい者の願いを聞いてくださいました。あなたは彼らの心を強くしてくださいます。耳を傾けて、彼らのなげきを聞いてくださいます。』そして、ダビデは、復讐は主がなさることであり、彼がなすことではないということを知っていました。

私たちは、主は、私たちの祈りを聞き届けてくださり、私たちが苦痛や苦しい状況から救って下さるだろうか？ と時として疑ってしまうかもしれません。私たちが捧げる祈りに対して、主からははっきりとした応答を受け取ることはできないのかもしれないかもしれませんが、私たちは、神様が常に私たちの祈りに耳を傾けていて下さるのだということ覚えておくことが大事なのです。おそらく、今は主からの語りかけられる時ではないか、あるいは、私たちの方が主の語りかけに気づいていないだけなのかもしれないかもしれません。主は私たちの心を探ってください、心の奥底にある本当に必要な願いに耳を傾けてくださいます。その確信をもって、私たちの心を主に注ぎ続けましょう。

讚美歌 310

祈り 父なる神様。私たちは自らの心配や困難について祈りを通してあなた様に自由に訴えています。あなた様はいつも私たちの祈りに耳を傾け、私たちが愛してくださいます。あなた様が私たちの日常の歩みのうえに日々くださる恵みを覚え、それに感謝することが出来ますように導いてください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン

スー・ランサム

カリフォルニア州 アンテロープ